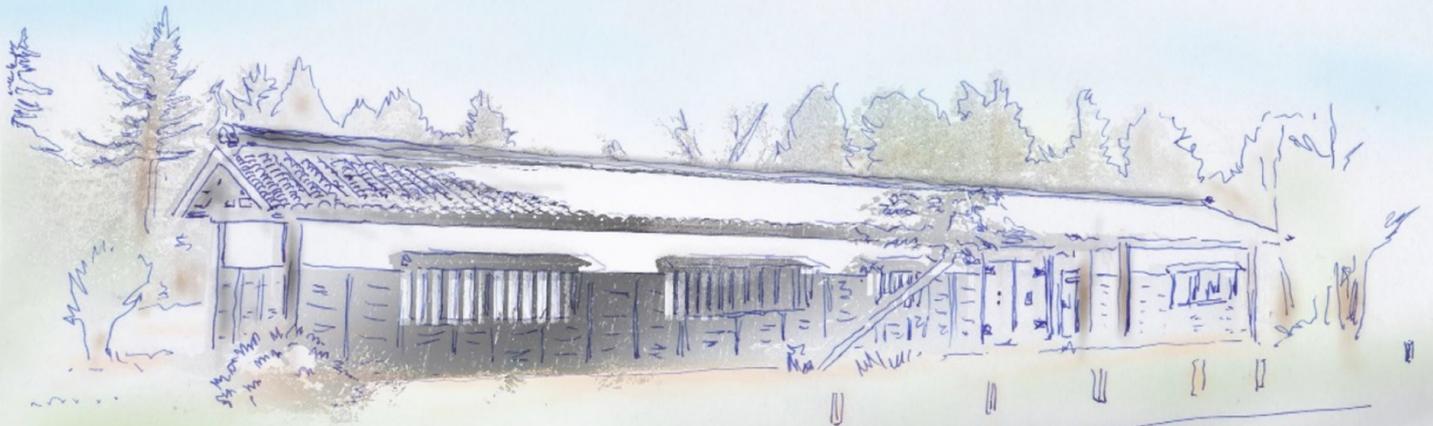


道心坂オオヤマザクラ1000本並木物語

 **ノジコの会**
since 2000

- ・オオヤマザクラ1000本並木の保全と
オオヤマザクラ自然公園の創出
- ・長屋門の再生
- ・常閑古道の復元

道心坂再生プログラム



プログラム 1

オオヤマザクラ1000本並木の保全と オオヤマザクラ自然公園の創出



道心坂の桜は、昭和 34 年に地元月岡に住む西村日子三郎さんをはじめとした若者たちによって、ソメイヨシノ 70 本植えられたことが始まりです。現在も旧最終処分場脇の堤防沿いにその面影がわずかに残されています。

このほか当時、西村さんたちはこの地に、休み小屋 3 棟を建設するなど、三条市民の憩いの場にしようと各界の協力を得て尽力されました。

オオヤマザクラの植樹は昭和 40 年代、同地林道入り口に住む川俣芳衛さんによって始められました。1000 本植えられたとされるそれは、やがて氏の高齢化などにより管理が行き届かなくなり、2002 年からノジコの会がその志を引き継ぎ、その保全育成を行っています。

現在、会としてこれまで延べ 1055 本のオオヤマザクラを植え、このゆたかな自然を次の世代に引き継ぐために活動を続けています。

本プロジェクトにおいては 10 年後の姿として、三条市や地元の協力を得て、この林道並木の中心にある旧最終処分場跡地にオオヤマザクラを植えた自然公園とし、林道沿いのそれと合わせて、この地を日本で有数のオオヤマザクラ景勝地として大勢の方からたのしんでいただけの地にしたいとするものです。

プログラム 2

長屋門の再生 ビジターセンター機能を

道心坂の麓に建つ「長屋門」は、今から 183 年前の天保 9 (1838) 年に、葛巻組 (現・見附市) の大庄屋渋谷家が見附市 傍所町^{ほろじよまち} に建てたもので、その後、昭和 53~54 (1978~1979) 年頃川俣氏によって現地道心坂に移築されました。その後、同建物は利活用されないまま現在に至っています。

2013 年度に三条市歴史的建造物調査が実施され、同建物の調査にあたった長岡造形大学の平山育男教授によって「当初の規模と形式をよく踏襲し、大庄屋の遺構に相応しい建物である」と評価されたもので、国の登録有形文化財に値する建築物と考えられています。

しかしながら、特にここ数年の豪雪、風の被害等によって庇の一部が破損し、屋根瓦の一部が崩落するなど少しずつ老朽化が進んでおり、このままだと貴重な文化遺産が失われてしまうことになりかねないことから、同建物を補修・リノベーションして、道心坂の「ビジターセンター」的機能をもつ公益性のある施設として位置づけて再生し、利活用したいとするものです。



プログラム3

常閑古道の復元

「(略) これよりよじのぼる山道は道心坂と唱い、このあたりの道心者(注: 仏法に帰依した人)のひらきたる近道なりといへり。(中略) 峠を打ち越へ平地に近きあたりに右のほう山へのぼる道あり。月岡方へ出る古道なりといへり。またその側らにかの道心者の墓あり。近道をひらきておほくの人の便より事になりしをよろこび、ここに塚をたてて後世にその名を伝えよしに聞こゆ。戒名の傍らに、享保の年をするせるはその人の死せるとしよ、この塚を建てしとしかくわしくは知れず」

『じんいん壬寅はくおう随筆』(江戸時代の地理学者・小泉蒼軒著)(同書の欄外に「はくおう白翁じょうかんしゃみ常閑沙弥 享保9年(※1724年)」の記載)



(現在の旧道は渡邊英世像の前広場までしか残されていません)

旧最終処分場脇をとる現在の市道は、戦後の失業対策の救済事業として下田へ通じる道路建設がされたものです。その道路ができる前の古道は、道幅50センチ程度だったと伝えられています。その道は、新道の開通により現在は荒廃して自然のなかに埋もれています。

私たちは地権者や関係者の協力を得てこれを復元し、古の道を歩いた人々の歴史や自然を感じてもらえるようにするものです。



皆様をお願いしたいこと 〈優先プログラム2〉

ビジターセンター機能施設

「長屋門」の再生に支援をお願いいたします

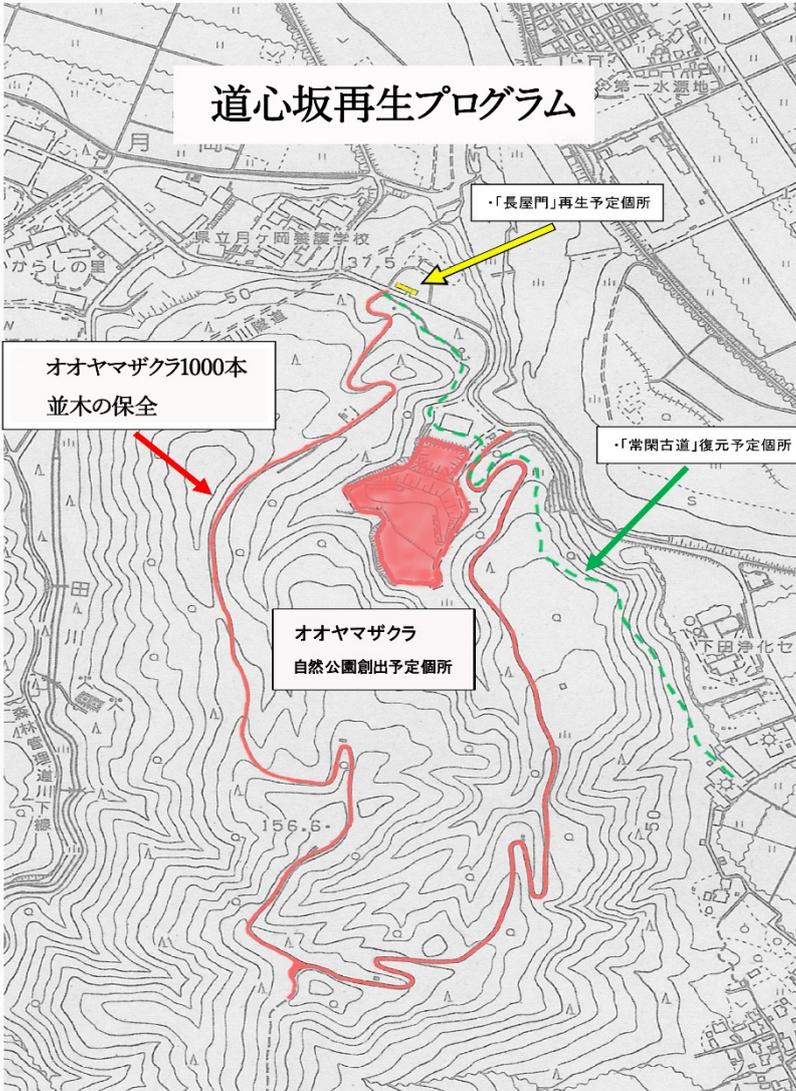
裏面へ

〈道心坂再生プログラムの効果〉

- ① 「長屋門」といった貴重な歴史的文化的遺産が保全され、オオヤマザクラ並木とともに未来へ継承される。
- ② 「長屋門」を道心坂の「ビジターセンター」的機能として位置づけることから、ここを訪れる人の自然観察・歴史文化の学習の地となる。
- ③ 訪れる人たち相互の、ふれあいや交流の場となるとともに、憩いの場、うるおいの場となる。
- ④ この道心坂が未来の子どもたちにとって、ゆたかな自然に触れ、歴史・文化に親しむ地となることによって、この地域が「ふるさとの地」となり、人間性の涵養やこころの誇りの場となる。
- ⑤ 近接する総合運動公園や自然豊かな観光地域・下田郷などと連携することにより、地域活性化の拠点となり、地域資産・観光資源となりうる。

長屋門再生スケジュール

年/月	2021 /6	2022 /4	2022 /6	2022 /7	2023 /8	2024 /8	2024 /9	2024 /10	2025 /2	2025 /3	2025 /4	以降
協賛企業・行政等への説明・支援要請	→											
屋根修繕工事 (Stage 1)	→											
(工事終了後) 市に対し登録有形文化財への働きかけ	→											
(市審議会開催～市による国へ情報提供～文化財審議会諮問・答申～登録)						→						
(登録後) 一般市民等への周知・支援要請	→											
内部改修/ペーjon工事 (Stage 2)									→			
改修後一般市民等へ周知・広報										→		
ビクターセンター供用準備											→	
ビクターセンターとして供用開始												→



長屋門再生目標金額：2000万円

屋根修繕(Stage 1)300万円 内部リノベーション (Stage 2) 1,600万円ほか 現時点での概算です。今後変更になる可能性があります。

貴重な文化遺産を守るため、募金をお願いします。

■屋根修繕〈Stage 1〉募金



- ◎ご寄附をいただいた方は瓦裏面にお名前を記入します。
- ◎「瓦募金」とは別に、企業・事業所・団体や個人の方で、このプロジェクトに賛同していただける方々のご寄付「プロジェクト募金」〈2,000円以上〉は別途申し受けます。「プロジェクト募金」にご寄附をいただいた方は、建物内に掲げる御賛画板にてお名前を記載させていただきます。

〈お問い合わせ先〉

〒955-0032 三条市東大崎 1227 ノジコの会事務局

Tel:0256-38-5236 Fax:0256-38-9027

Mail: k-shizu@soho-net.ne.jp

詳しくは、「ノジコの会」のホームページをご覧ください。 <https://nojikonokai.com/>